

公益社団法人 日本青年会議所 2021年度 四国地区 愛媛ブロック協議会

地域クオリティ向上委員会

委員長 西部 祥平

<p>設 置 背 景</p>	<p>近年、全国各所で自然災害が多発し、愛媛県でも2018年に西日本豪雨災害を経験しました。今後南海トラフ地震のほか、豪雨による河川の越流や土砂災害等の発生が引き続き予測されており、今や災害はいつでも起きてもおかしくありません。迅速に災害に対応し、支援に関するネットワークを確立するために、我々が各種団体と連携し、そして協力体制を構築していくことは必要不可欠です。また、SDGsに関する認知度について、株式会社電通が実施した「第2回電通SDGs生活者調査」では、愛媛県におけるSDGsの名称認知率は21.1%で全国第3位でした。愛媛県ではSDGsの認知度向上から具体的な取り組み実現を目指す機運が高まっています。誰もが輝ける地方の創生を推進し、地方自治体が住民に寄り添いより自主的な行政運営ができるよう、地域行政への質的権限移譲の実現を推進しなければいけません。新型コロナウイルスによって、急速な変化を迎える中、持続可能な愛媛を創生するためには、行政間や民間だけではなく、青年会議所が橋渡し役となりさらに包括的な連携を強化する必要があります。</p>
<p>設 置 目 的</p>	<p>今後起こり得るであろう災害時における関係各所との連携を、青年会議所がその連携のハブとなって一層強化することを目的とします。また、四国地区協議会と連携し支援物資供給訓練を実施することで各LOMメンバーの防災意識を向上させるとともに、いつ災害が起きても発動できる継続可能な災害支援ネットワークの確立を目的とします。そして、SDGsの各種ゴールの実現を通じて地方創生の機運を高めることを目的とします。さらに、市民と地域に根付いたスポーツチームが連携して地域の特性を活かしたまちづくりについての議論を行い発信することで、地域行政への質的権限移譲の実現を推進することを目的とします。</p>
<p>運 動 計 画 (KPIも記載)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発災時の災害ネットワーク構築事業の企画、運営をします。 (発災時対応訓練1回実施 災害被災地支援協定締結に関わる事業開催1回実施) 2. SMILE BY WATER事業の企画、運営をします。 (募金活動開催 3回以上 及び 関係団体との連携した事業開催 1回) 3. 地域行政への質的権限移譲の実現を推進する事業の企画、運営をします。 (市民とスポーツ団体が連携して議論を行い地域行政への質的権限移譲の推進を発信するための事業開催 1回)
<p>運 動 手 法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害時における関係各所との連携を一層強化するため、愛媛ブロック協議会と愛媛県社会福祉協議会との災害被災地支援協定を締結し、またその他の団体との協力体制により物的支援や人的支援のプラットフォームを構築するとともに四国地区協議会と連携し発災時対応訓練を実施することで、災害に強いまちづくりを推進します。 2. SDGsの各種指標の実現を通じ、地方創生の機運を高めるため、SMILE BY WATER事業についての積極的な発信と募金活動を行い関係団体との連携し企業や行政の具体的な取り組みを発信することで、SDGsの県内への更なる認知度向上と、目標6「安全な水とトイレを世界中に」の実現を推進します。 3. 地域行政への質的権限移譲の実現を推進するため、市民とスポーツ団体が連携し国家戦略特別区域を活用したまちづくりの政策について議論を行い発信することで、地域行政への質的権限移譲の推進を行います。
<p>パ ー ト ナ ー</p>	<p>愛媛県内各地会員会議所（実施支援）四国地区協議会（政策支援・実施支援）、内閣府（政策支援）、愛媛県（政策支援）、今治市（政策支援）、愛媛県社会福祉協議会（実施支援）、愛媛県内各地社会福祉協議会（実施支援）、FC今治（政策支援・実施支援）、県内各種プロスポーツチーム（実施支援）</p>